

下僅カ。三十餘騎。通り又將卒乃々死ヲ決シ彈
而々冒シテ襲撃。移リ先ッ付家旬子。進ミ来リ
ル敵。騎兵ヲ驅逐シ次々。敵。歩兵隊ノ左側ヲ
衝ケリ此レハ衆寡相敵ヒヌ之。依リ敵ヲ撃退ス
ル能ハヌ只一時敵ノ内部。非常ノ混雜ヲ起シ之
ヲレヲ暫時近^連遁ヲ誘導ヒレノタル効力アリレノ
此間中隊長淺川大尉ハ負傷シ嘉悦中尉直々。
代々中隊ヲ指揮シ襲撃後北方。向テ背進シタリ

附記

淺川大尉ノ負傷シタリ馬ヲ失フマ其部下騎兵二

等平木村源松自々馬ヨリ下リテ大尉ヲレテ之
騎ヲレノ騎兵二等軍曹福澤平太郎ト云。之
ヲ扶ケテ退却シ大尉ハ之ニ依リ幸ツレテ危急
ヲ脱スルヲ得タリ然ルニ^憐ト入リシ途途中一
彈来テ木村二等卒ノ腹部ヲ貫キ^歟戦歿セシ
トタリ

恰モ好シ^歟時步兵第三聯隊第三中隊進シテ下坂
子。到着シ又^歟時清軍歩騎兵約八百名小碗工内
周家屯ヲ方圓ヨリ見ハレ日本軍ノ左側背。向テ
前進ス来^歟カハ^秋山少佐ハ徒歩散開セル騎兵兩

中隊、下坎子。據ル歩兵隊、左側、退ケ吏。此
敵の支拒セシテ計レリ。此時等、約八百里、山麓、川原、
右、示ス。如ク歩兵第三聯隊第三中隊ハ此時下
坎子。達シタル今、先ツ翻テ此、至リ、顧未
記述スヘレ

管城子。在リ、元井少佐ハ既、昨十七日、於テ
西少將ヨリ前各鎮堡、係、左、命令、受領レ
タリ

歩兵第二聯隊ヨリ出シタル偵察隊ハ石坎子水
附近、於テ敵、歩騎兵約八百ト遭遇シ

戦ヲ交ヘタリ。戦間、約八百里、(本井)連、退、走、隊、貴官

ノ指揮スル部隊ヲ、步兵第一大隊、步兵第一中隊、(一)大隊

ハ、明十八日午前八時宿营地ヨリ出發、双台溝西

南方ノ地、志、營、其前方高地ヲ占領シ警戒ス

ヘレ但シ工兵中隊ハ前日未、如ク成シ得ル限

リ道路、修理ヲ為サレムヘシ

前衛本隊、午前八時當時^地發シ双台溝、宿營

スル豫定ナリ

翌日十八九井少佐ハ歩兵第一大隊及工兵第

一中隊(一小隊欠)ヲ率キ午前八時管城子、出發シ

せしノ馳セリ下坎子。達レタリ時。前文既。述
 アルカ如ク搜索騎兵隊ハ敵。包擁セラル苦戦シ
 フ。アリシカハ歩兵第三中隊ハ直テ下坎子ノ
 西端。散開レ此時マツ山潤堡。徒歩戦開リナセ
 ル騎兵第一大隊第一中隊(一小隊欠)及同第六大隊
 第一中隊(二小队欠)ハ之。收容セラル前記ノ如
 ク其左側。退却セリ茲。於テ敵ハ勝。東シ進
 レテ歩兵第三中隊ヲ包擁シ周家屯方向ヨリ出テ
 敵モ漸ク前進セラ其左側。向ヘリ仍テ歩兵第
 三中隊ハ勢ヒ乏ヘ難ク退セリ許家窑ノ西端。換

中二柳岡

(七)

第一中隊ハ

日本軍騎兵五連ノ
標記

リ騎兵第一大隊第二中隊(一小隊半)ハ其右側、
警戒シ秋山少佐ノ率キル搜索騎兵隊ノ首力ハ洪
家也、東北、豆ノ岡陵ノ背、掩ハレ退却シツ
、アリ此時岡家也方向ヨリ前進セル敵ノ先頭、
在リレ騎兵約五十騎ハ洪家也東北^方凹地ヨリ日本
軍ノ退路ニ迫リントモシカハ秋山少佐ハ騎兵第
六大隊第一中隊(二小隊)ニ命シ之、向テ襲撃セ
レム依テ此中隊ハ直テ進シテ之ヲ襲撃シ其三
騎ヲ斬リ其他ヲ驅逐セタリ此時恰モ瓦井少佐ハ
歩兵第二中隊及第四中隊(一小隊)ヲ率テ此戦場

・到着シタリ乃々元井少佐（是ヨリ先々双台溝
西南高地（在リシ）カ午前十時五十分搜索騎兵隊
及歩兵第三中隊、前方ニ於テ苦戦セツ、ア
報（ハ）接シ親テ歩兵二中隊ヲ率テ前進シ之ヲ援
ヲ、決心ヲ取り歩兵第一中隊（及工兵第一大隊等
一中隊（一小隊欠）信地（信地）止ノヲ之ヲ守備セシノ
第二中隊及第四中隊（一小隊欠）率テ直テ、前進
・就キ午前十一時十分許家窪、達シタリ此時歩
兵第三中隊ハ既ニ記スカ如ク同地ニ於テ頗ル苦
戦シ搜索騎兵隊ハ其兩側、別レテ警戒シアリシ

カハ元井少佐ハ直テ、其歩兵第二中隊ヲ歩兵第
三中隊ノ左側ニ展開シ歩兵第四中隊（一小隊欠）ヲ左側
ニ迫リ来ル敵ニ當ラシム此時戦局最ニ劇烈ヲ極
ノ兩軍ノ死傷相当セリ日本軍ハ奮テ攻勢ヲ持セ
シテ勦ノトリシモ敵ハ優勢ニシテ勢ニ當ル可
クヌ加フルニ正午ニ至リ敵ノ砲兵ハ東北溝東南
ノ丘阜ニ見ハレテ射撃ヲ始メ須臾ニシテ其歩騎
兵ハ左側背ニ迫リ猛烈ナル射撃ヲ始メタルヲ以
テ元井少佐ハ勢ニ支テ可クサルヲ見改台溝西南
高地ニ退却スルノ決心ヲ取り先テ第三中隊ニ退